



林 声

2014

11 月号



新見市上市にお住まいの自伐林家の真壁勲二さんです。会社勤めを終えた後、林内作業車を使用した搬出間伐による森林の管理に取り組まれています。(詳細はP 2に記載)

目 次

岡山・森林列伝 (真壁 勲二さん) …………… 2	狩猟期の注意事項 …………… 10
がんばる認定事業体 (フォレストこいで) …… 3	技能講習会、イベント情報 …………… 11~12
普及指導区の情報 (井笠支部) …………… 4	林産物市況 …………… 12
普及指導区の情報 (津山支部) …………… 5	
新・森の大使の紹介、第 47 回岡山県農林漁業 功労者表彰受賞者の紹介 …………… 6~7	
農林高校生の活躍① …………… 8	
岡山県みどりの大会の開催 …………… 9	



岡山県マスコット (もっち)

岡山・森林列伝

【新見普及指導区】



一 はじめに

今回は、新見普及指導区の自伐林家 真壁勲二さん（71歳）を紹介します。

真壁さんは、会社勤めの後、第二の就職を経て、66歳から念願の山仕事に打ち込む生活を送っております。

二 自伐林家として

お住まいは、新見市上市で、山村地域に生まれ育ったことから、山仕事を身近に感じてこられました。

約30年間、親族が経営する乾燥機メーカーに勤め、その後は、公民館長等の仕事の傍ら林業を続け、5年前から本格的な自伐林家となりました。

かつて勤めていた会社の営業部長として全国を飛び回る中で、各地の有名林業地を見る機会があったことから、自分自身で山仕事に取り組みたいとの考えを常に持っていたそうです。

現在、管理している森林は約34

畝、年間約3畝の搬出間伐を行うなど、各地で得た経験を活かし山林作業に取り組んでいます。

また、「間伐で必要なことは、素性の良い木を残すこと。しかし、混み合っている場所では素性の良い木でも伐る。」と言われています。

間伐の必要性を理解しているながら、自分の山では、素性の良い木は伐れない林家の方が多いそうです。



愛用の林内作業車と一緒に

さらに、専門家に任せることが効率的な、作業道の開設、木材の運搬は専門の業者に発注し機械への投資を抑え、自らは、間伐作業

と林内作業車を使用して道路沿いまでの搬出を行っています。

三 地域のリーダーとして

真壁さんは、近年、山作業を行える人が少なくなっていることを心配されています。

現場でチェーンソーを使っている方でも、ソーチェーンの張りの調整や目立てが不十分な人が多く、頼まれれば指導者としても活躍されています。

会社勤めをリタイアされた方が、所有山林の管理を行うためには、講習会等での基本的な知識の習得が必要と話しておられました。

なお、真壁さんは、自伐林家代表の一人として、昨年度発足した新見市小規模林家支援推進協議会の作業部会に参加し、自らの経験を活かした意見を述べられています。

四 山作業の安全について

真壁さんは、昨年、伐倒作業中に怪我をしました。原因は、小径木であったことから油断したためだとしきりに反省しておられました。

「山で作業をするためには、いく

らかの収入を得ることが必要であるが、怪我をしては、何にもならない。無理のない範囲で怪我なく仕事をすることが大事。」との考えで作業をしているそうです。

五 おわりに

当地域でも、年間を通して山で作業される方は少なくなっています。新見普及指導区では、今後とも真壁さんをはじめとする自伐林家を支援することとしています。



5年前に搬出間伐を行った森林

（林業普及指導員 黒瀬勝雄）

特集

がんばる認定事業体 株式会社フォレストこいで の紹介「真庭普及指導区」

一 はじめに

真庭市を中心とする岡山県北部において、林業を後世に伝えるべく育林・素材生産業等を手がける「株式会社フォレストこいで」。真庭市開田の事務所へ小出一博社長を訪ね、お話を伺いました。



(手前右から) 小出一博社長、小出純平専務、山崎藤郷部長、岡田百合美さん、小出経子さん

二 (株)フォレストこいででの概要

将来、林業に携わる人がいなくなることに危機感を抱くとともに、森林資源の充実によって到来するであろう素材生産の時代に向けて、林業後継者を育成したいと

の思いから、平成12年6月に起業し、18年10月には株式会社へ移行しました。

現在、役員2名、事務員3名と、作業員は18名で、育林・素材生産班4班(14名)、木材運送班(2名)、チップ生産班(2名)に編成し、作業員の平均年齢は43歳です。

三 事業活動の状況

事業活動は植栽から伐採までで行っていますが、平成16年の台風による倒木被害以降、造林・保育事業は減少しており、現在は素材生産がメインです。平成25年度実績は約8,600立方メートル、すべて間伐による実績です。

作業システムは一班3〜4名体制で、路網開設を先行し、チェン



真庭市内での搬出間伐作業

ソーによる伐倒、ウインチ付きグラップルによる集材、プロセッサによる造材、フォワーダによる搬出を標準としています。一連の作業をすべてこなせるよう、作業員は各種資格を取得し、技術研鑽に努めています。

その他、公共工事等に伴う支障木の伐採や、未利用材を活用した割木の製造販売も行っています。

四 今後の事業展開について

真庭市内で来年4月から稼働する木質バイオマス発電所に燃料用チップを供給するため、移動式チップパーとチップ保管庫を平成26年4月に整備しました。10月から原料となる原木を収集しており、年間1万トンのチップ生産を計画しています。



木質チップ・機械保管庫

真庭市では木質バイオマスを活用した循環型社会づくりと産業振興を官民一体となって取り組んでおり、当社としても燃料チップの安定供給の一翼を担っていきたいと考えています。

五 日々の業務に思うこと

岡山県北部は「美作材」の産地。このブランドを守り、先代が育てた人工林を守るために、植栽から保育、伐採までが途切れることのないよう、林業技術の研鑽に努めており、従業員にとってもやり甲斐がもてる会社にしていきたい。毎朝、気持ちよく作業員を送り出せるよう「安全第一」を最重要項目に、職場環境の改善や福利厚生の実現に努めています。

平成20年に入社された社長の息子さんの純平専務は「山師としての醍醐味が少しずつ分かってきた。山主に喜んでもらえるよう、採材などにもこだわっていきたい。」と話されています。

六 おわりに

真庭普及指導区では地域の森林管理プロ集団として益々の御活躍を期待し、活動への支援を行いたいと考えています。

(林業普及指導員 掛屋晶則)

普及指導区の情報「井笠普及指導区」
子ども達の歓声が響く里山
を目指して「高岡地区
山王保全会の取組

一 はじめに

井笠普及指導区内では、荒廃した里山を整備するため、地域で森づくり活動に取り組んでいる事例が多数あります。その中の一つ、里庄町内で里山保全活動に取り組んでいる「高岡地区山王里山保全会」（以下「保全会」）の取り組みを紹介します。

二 活動のフィールド

保全会の活動の場は地域のシンボルでもある丁山（ようろうやま）。標高は78m、東西にゆるやかに延びる稜線沿いには歩道が整備され、頂上には「木野山さま」が祀られており、周囲の景色を一望することができます。

保全会事務局長の生實正直さんによると、かつては明るい松林が広がり、子どもたちの格好の遊び場だったようですが、昭和40年代から松くい虫被害により松が枯れ、灌木が鬱そうと茂り、誰も山に入らなくなつたそうです。この状況を憂いた有志の話し合

いで、子どもの声がする丁山へ再生できればと、保全会の取り組みが始まりました。



丁山山頂からの眺望

三 保全会の概要

活動開始は平成18年度。現在の会員数は16名で、毎週土曜日の午前中（夏期は月1回）に下草刈りや不用木の伐採等を行っています。

また会員には、得意な分野を持つ者も多く、植物に詳しい者は植生調査を、木工の得意な者は案内板やベンチの作成を行っています。

四 ツリーイング体験会の開催

保全会では、本年8月4日に地区の子ども会を招いてツリーイング体験会を開催しました。ツリーイングは専用のロープを使って木に登り、木や森との一体感を味わう自然体験活動です。

ロープを利用した木登りの技術は、樹木医や研究者が樹上作業を行うために発展してきましたが、ツリーイングは、一般の人々でも安全かつ気軽に体験できるよう、これらの技術を体系化したものです。参加者には特別な技術や体力は不要ですし、手を離しても落ちる心配はありません。



子ども達の木登り体験

五 普及指導区の支援

保全会では、4年前にも一度ツリーイング体験会を実施したのですが、近隣に住んでいた指導者が県外に転出したことで再度の実施が困難となっていました。

そこで、相談を受けた普及指導員が、県内のツリーイング指導者団体と連絡調整を行い、保全会へは不測の事態に備えて保険加入を指導しました。安全の確保には特

に注意を払い、指導者団体と普及指導員、保全会の3者で事前に下見を行い、支障木や腐朽の認められた枝を取り除く等、会場整備を行いました。

六 参加者の反応等

子ども達は夢中になって木に登り、「降りたくない」「来年もやりたい！」と歓声が上がりました。保護者からは「近所にこんな冒険ができる里山があるとは知らなかつた。」と感想を聞かせていただきました。また保全会の会員にとっても、孫の世代となる参加者に地域の里山を体験させる絶好の機会になりました。

指導者団体からは、林床の手入れが行き届き、枯枝が少なく樹高も高いこの場所はツリーイングに適していると発言がありました。

七 おわりに

保全会では、森づくり活動で出た不用木を活用し、簡易スミヤケールを使った炭焼き体験を検討中です。井笠普及指導区としても、保全会の取り組みが世代を超えて継続していくよう、引き続き支援していきたいと考えています。

（林業普及指導員 田中康敬）

普及指導区の情報【津山普及指導区】
「森林経営計画の作成促進の取組」について

一 はじめに

以前の森林施業計画制度から森林経営計画制度に移行して、およそ2年半が経過しました。

経営計画といえば、林班面積の1/2以上の面積要件や基準が難解で、判りにくいとの声がかかれていました。造林補助制度の変遷とも相まって、平成25年度半ばからは、新たな計画作成の動きは鈍化していたところでした。

こうした状況から、制度が見直され、今年度から面積要件が緩和された「区域計画」の制度が新たに創設されました。「区域計画」とは、市町村森林整備計画において定める一定の区域において30畝以上の森林を対象として作成できるものです。

二 森林経営計画キャラバンの開催
「区域計画」の制度について周知を図るため、「森林経営計画キャラバン」を美作県民局を会場として開催しました。

林野庁森林整備部計画課計画指導班の城課長補佐をお迎えして、「区域計画」制度や、運用改善について説明いただくとともに、計画作成に取組んでいる森林組合や林業事業者等との意見交換を行い、現場の意見を聴いていただきました。

【開催日】

平成26年8月28日午後
29日午前

【開催場所】

美作県民局5階大会議室

【参集者】

林野庁計画課 城課長補佐

一日目 森林組合、市町村、県

二日目 認定事業者等、県

【概要】

・一日目 森林経営計画作成途上の森林組合（美作県民局管内3組合）との個別意見交換



森林経営計画キャラバン
一日目 個別意見交換の状況

・二日目 施業集約化や森林経営計画に取組意向のある事業者等（県下全域）との意見交換会

森林経営計画制度は、難解で使いにくいとの厳しい御意見や、造林補助制度の採択要件の見直しを求める御意見も相次ぎましたが、城課長補佐から、効率的な施業、効率的な補助を求める時代の要請に因應ねばならず、「区域計画」を活用して森林経営計画の作成を進めていただきたいとの要請がありました。



森林経営計画キャラバン
二日目 意見交換会の状況

三 区域計画作成に向けた取組み

キャラバンを受けて、新たな制度の周知が不足しているとの反省点がありました。

このため、森林経営計画の作成が十分ではない地域を対象として、森林組合、林業事業者等関係

者と市町村、県が参集し、新たな制度の内容を再確認しつつ、区域設定のニーズと、制度上の制約等の調整に取組んでいます。

造林担当と計画担当、普及指導区（県民局と地域事務所）も連携して、従来制度での経営計画の作成状況や、地形・路網・森林資源の状況等を踏まえ、区域の設定を検討しています。



四 おわりに

森林経営計画制度は、簡易になるよう見直しされたものの、時点によって運用が異なるなど、かえって複雑になっている面もあります。大勢が参集する会議での一律の説明だけでは、理解しづらいので、個別に相談の機会を設けるなど、地域の関係者と連携して計画作成の促進に努めたいと思います。

（津山普及指導区）

林業普及指導員 小川章子

★お知らせ★

「おかやま森の大使」決定!

森林・林業の大切さや木材の良さのPRを行う「おかやま森の大使」の面接選考会を9月5日(金)に開催し、池田あおいさん(津山市)と鎌田華佳さん(岡山市)の二人を新大使に決定しました。今後2年間、各種行事において普及啓発活動を行いますので、御支援と御協力をお願いします。



鎌田さん(左)と池田さん(右)

新・大使からあいさつ

幼い頃から緑に囲まれた小さな木造の家に住むことが夢でした。豊かな水と緑、おだやかな気候など素晴らしい環境を将来の世代へと引き継いでいくためのお手伝いをさせていたただきたいと思えます。また、森の大使の活動を通して、たくさんの方に出会い自分自身も成長していけるように努めます。よろしくお願ひいたします。(池田あおい)

私のリラックス方法、それは家族と一緒に森林浴をすることです。自然や森林には人を癒やすパワーがあります。そんな素敵な岡山の森林や木々の大切さをより多くの皆様に伝えることが出来るよう努力していきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。(鎌田華佳)

派遣についてのお問い合わせは、岡山県林業改良普及協会事務局(県庁林政課 ☎086-226-17451)までお願ひします。(事務局)

第47回岡山県農林漁業
功労者表彰受賞者の紹介

林業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお喜び申し上げます。(敬称略)

《知事表彰【林業部門】》

○岩田 勉(真庭市)

真庭地域でいち早く原木しいたけのハウス栽培を導入し、高品質な乾しいたけを生産し、直販活動を行うなど、50年以上にわたる生産・販売の経歴は地域の模範となつている。また、真庭市椎茸生産組合の理事・副組合長を務め、組合員を指導するとともに、生産技術の伝承に努めている。

○小林 由隆(鏡野町)

昭和37年から52年の長きにわたる、優良な種苗生産に取り組んでいる。また、作州地区山林種苗組合の理事・副理事長を務め、組合員へ生産技術の指導等を行った。さらに、山林種苗等生産事業功労者林野庁長官賞を平成13年度に受賞するなどしている。

《知事表彰【団体指導者部門】》

○中上市男(新見市)

平成元年から22年度まで大佐町椎茸生産組合長として、各種研修会や先進地調査に赴き、得た知識を組合員へ普及し、地域の生産振興に努めてきた。

また、乾しいたけの価格下落、消費量の減少など厳しい環境が続く中で、しいたけ原木の自給自足等による経営改善努力を続け、今日に至るまで一貫した原木しいたけ生産に取り組み、高品質な乾しいたけは、平成18年度以降、毎年、品評会で県知事賞を受賞している。

○藤原 繁(鏡野町)

森林組合の広域合併に当たって、先頭に立って関係者間の調整・説明に奔走し、合併を成し遂げ、現在も作州かがみの森林組合代表理事組合長として尽力している。

また、森林組合の機械化の促進による間伐の推進、現場作業員に対する労働災害の防止のための教育の徹底及び安全装備の導入など労働環境整備に尽力した。

さらに、スキー場やゴルフ場の管理受託、子会社によるガソリンスタンド経営など、経営基盤強化のための多角化に努めている。また、岡山県漁士会と協力した森林整備活動など様々な取り組みを行っている。

《農林水産部長表彰【林業部門】》

○岡 良徳（井原市）

平成18年から26年まで芳井町林業研究会会長として、地域の特産品であるマツタケの増産技術の普及に努めてきた。松林の荒廃が進む厳しい状況の中、これらの取り組みが、健全な松林の保全、森林の公益的機能の維持に寄与している。

また、近年では、新たな地域の特産品にしようと県森林研究所と連携し、ホンシメジの人工栽培に取り組みとともに、技術の伝承を行っている。

○西本 健三（津山市）

地元の財産区有林を健全な森林として次世代に引き継ぐため、豊富な見識をもとに施業管理の手法の提案などを行っている。

また、平成16年の台風による未曾有の風倒木被害地の復旧に当たっては、津山市森林組合参事としていち早く他県の林業事業者と連携し、労務と機械の確保を図り早期復旧に努めた。

さらに、森林組合の広域合併に当たっては、先頭に立って関係者間の調整・説明に奔走し、合併を成し遂げ、現在は津山市森林組合代表理事組合長として尽力している。

○細川 努（奈義町）

昭和56年から33年の長きにわたり、優良な種苗生産に取り組んでいる。

また、県下でいち早くコンテナ苗、少花粉スキの生産を手がけるなど、時代のニーズに添った先駆的取り組みを行っている。

さらに、美作山林種苗生産組合の役員を務め、組合員へ生産技術の指導等を行っている。

《農林水産部長表彰

【団体指導者部門】》

○大越 秀樹（岡山市）

岡山県木材組合連合会副会長、

岡山県木材協同組合理事長として卓越した指導力を発揮し、両組合の発展に貢献した。

また、県民局設置の備前地域木材需要拡大推進会議への参画や県木連主催の「ふれあい木材展」へ協力し、県産材利用拡大に努めている。

○尾高 健一（倉敷市）

岡山県木材組合連合会副会長、倉敷木材組合長として卓越した指導力を発揮し、両組合の発展に貢献した。

また、倉敷木材組合長として児島木材業組合、玉島浅口木材組合との合併に尽力した。さらに、倉敷市に県産材木造住宅補助事業の創設を働きかけ、予算化につなげるなど尽力している。

○山下 和夫（真庭市）

岡山県木材組合連合会副会長、真庭地区木材組合理事長として卓越した指導力を発揮し、両組合の発展に貢献した。

また、製材所、プレカット工場木材乾燥や加工技術の向上に努め、地域の優良木材製品の生産に尽力している。



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

**森林・林業教育に取り組む
「勝間田高校グリーン環境科
森林緑地類型」**

一 はじめに

岡山県立勝間田高等学校には、県内で唯一森林・林業教育に取り組む学科、グリーン環境科があります。過去、多くの生徒が卒業し、岡山県の林業の発展に寄与されている諸先輩方が数多くおられます。今年度も、何名かの生徒が、是非林業関係の仕事に就きたいと就職活動に取り組んでいます。今回は、グリーン環境科森林緑地類型の生徒が、取り組んでいる特色ある学習内容を紹介します。

二 特色ある教育活動の実践
① 演習林実習

倉見演習林は、大正11年に本校の林業経営林・試験研究林として開かれ、全国屈指の演習林規模を持ち、生徒・職員による地道な育林活動が続けられています。

100年生以上のブナ・カエデなどの天然木が残る自然林、スギ・ヒノキの人工林率が約50%にまで達するなど、経営林・学術林としての基盤は十分なものとなり、大いに活用されてきました。



演習林実習（植林）

さらに、最近では、生徒自らが小学生・中学生に森林体験を指導する場としても、活用しています。

演習林実習の目的は、森林に入り、実際に森林活動・林業活動を経験し、林業の基礎や森林科学・森林経営などの知識・技術を総合的に学習すると共に、共同生活を通して友情を育て、山を愛し、山に生きる技術者としての精神や技術を培うことです。

【1年生】

地ごしらえ・除伐・杉の挿し木・下刈り・苗畑管理・枝打ち・樹木学習他

【2年生】

除伐・間伐・毎木調査・林道設計・周囲測量・枝打ち・高性能林業機械他

【3年生】

植林・除伐・間伐・枝打ち・高性能林業機械・総合的な実習他

② 高性能林業機械実習

岡山県農林水産総合センター普及推進課林業普及推進班の指導により、木材生産の現場で主流になっている高性能林業機械にふれる実習を、2・3年生を対象に年に1回ずつ実施しています。

操作する高性能林業機械は、フォワーダ・グラップル付きバックホウ・ハーベスター等で、体験を通じて、機械化された作業の安全性と効率性を学びます。



高性能林業機械実習

③ 校内実習

木材加工・林産物利用・機械操作・測量などの作業を校内で実習しています。



木材加工実習

④ 社会人講師による森林教育

岡山県森林マイスター事業を活用して、専門家から直接話を伺う機会を設けています。

- ・ 森の大切さを学ぶ（1年生）
- ・ 高性能林業機械の現状（2年生）
- ・ 木造建築の実際（3年生）
- ・ チェンソーカービング（3年生）
- ・ 樹木医講座（一、二、三年生）

三 おわりに

一人でも多くの卒業生が、森林に係わる仕事に就き、松生産量屈指の岡山県林業を、さらに発展させてほしいと、いつも心に思っています。

（岡山県立勝間田高等学校
グリーン環境科）

岡山県みどりの大会 2014の開催

秋のみどりの月間中となる10月4日(土)、美咲町西川上にある「三休(みやすみ)公園」において、「岡山県みどりの大会2014」を美咲町、(公社)岡山県緑化推進協会との共催で開催しました。

この大会は「おかやま森づくり県民税」を活用し、みどりの大切さを楽しみながら学ぶことで、森林をはじめとするみどりを守り育てていく心を培ってもらおうと実施したもので、みどりの少年隊、美咲町の小・中学校等の子どもたちや関係者ら約500名が参加し

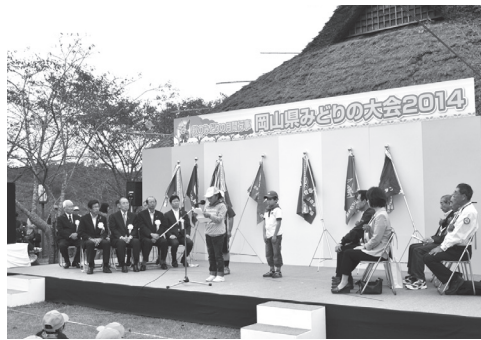


オープニング(花の種を大空へ)

ました。

当日は、さわやかな秋空のもと、色づき始めた木々に囲まれた会場で、地元旭保育園児による鼓隊演奏、参加者による環境風船飛ばしのオープニングイベントで盛大に始まりました。

午前中は緑化運動・愛鳥ポスターコンクールの表彰、大坪和みどりの少年隊による活動発表、来賓等によるソメイヨシノの記念植樹などが行われました。



みどりの少年隊活動発表

昼は、町のご厚意により「たまごかけごはん」と「いのしし汁」のふるまいがあり、参加者は美咲町の味に舌鼓を打ちました。
午後からは、将来、立派な大木となつて三休公園の春を彩つてく

れるように願いを込めて、参加者全員でヤマザクラやソメイヨシノの植樹を行いました。



たまごかけごはんに舌鼓



植樹活動

「みどりわんぱく村祭」では、県森林インストラクター会と県キャンプ協会の指導のもと、様々な自

然体験活動が行われました。

そば粉に湯をかけて椀の中でこね、しるこをかけて食べる「そばがき」づくり。自分で切った丸太を使って、思い思いに作る木工クラフト。そして、自然の中に隠れたおもちゃ等の人工物を探し当てる「カモフラージュ」や、配られたリストに沿って自然の中から探してくる「宝さがし」などのネイチャーゲーム。子どもたちはそれぞれのコーナーで、元気いっぱい楽しんでいました。

この大会を通じて、子どもたちがみどりや自然に親しみを持ち、将来にわたって身近に感じてくれるよう願っています。



丸太切りに挑戦

(環境文化部 自然環境課)

狩猟時の注意事項

一 狩猟期間について

今年度も11月15日から狩猟期間が始まります。狩猟期間の終期は2月15日ですが、岡山県では、鳥獣による農林業等への被害が深刻化していることから、特定鳥獣保護管理計画を策定し、現在、イノシシ及びニホンジカについては、狩猟期間の終期を3月15日まで、1ヶ月延長しています。

二 狩猟等に伴う事故について

平成25年度は、岡山県内での死亡事故はありませんでしたが、環境省のとりまとめによりますと、全国で5名の尊い命が失われています。

被害者別の内訳は、猟同行者が3名（狩猟2名・有害駆除1名）、山菜採りなど、一般人の方が2名（狩猟1名・有害駆除1名）となっています。なお、いずれの死亡事故も銃猟によるものです。

また、全国での狩猟等による重軽傷者数は、重傷10名、軽傷7名となっています。

三 狩猟者が注意すること

狩猟者の方は、野山には一般の方々もいることをあらかじめ想定したうえで、法令やマナーを守り、十分な安全確認、猟犬の管理徹底を行い、事故・違反のないように安全狩猟をしてください。

特に銃猟を行う方は、獲物の確認と矢先の安全の確認をすること、射撃をするとき以外は必ず弾を抜くことを徹底してください。

四 狩猟事故に遭わないために

野山に入る場合や狩猟が行われる場所付近で間伐作業などをする場合は、目立つ服装を着用し、ラジオを流すなどして、自分の存在を知らせるように心がけてください。また、「林内作業中」の看板を設置するなど、狩猟者の注意を喚起するようにしてください。

わなやわなの標識を見つけた場合は、獲物が掛かっていることやわなが地中に埋設されていることがあり、危険ですので絶対に近づかないでください。

（環境文化部自然環境課）

平成25年度 狩猟等に伴う死亡事故の状況（環境省とりまとめより抜粋）

No.	日時	場所	狩猟/有害	猟同行者/一般	事故概要
1	25.5.12	宮城県女川町	有害	猟同行者	15名でのシカの有害捕獲中に発生。散弾銃で60mlほど先にいた2頭のシカを撃ったら、仕留めたシカの後ろに被害者が倒れていた。
2	25.11.3	静岡県長泉町	有害	一般	猟友会仲間とのシカの有害捕獲中、山菜採りに来ていた被害者をシカと誤認して発砲。被害者の頭部及び胸部に着弾。
3	25.11.7	北海道新十津川町	狩猟	猟同行者	2人でエゾシカの狩猟中、加害者が揺れ動いたササに向かってライフル銃を発砲、被害者に当たったものと思われる。
4	25.11.24	栃木県佐野町	狩猟	一般	グループでのイノシシ猟中にライフルを発射。イノシシに向けて発砲したが当たらず、流れ弾がその先にいた被害者に当たった。
5	26.2.14	北海道北見市	狩猟	猟同行者	雪上車に4人が同乗してシカ猟中、助手席の加害者が降車しようとした際にライフル銃が暴発、荷台に乗っていた被害者の胸部に着弾。



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

技能講習会の開催(12~2月)

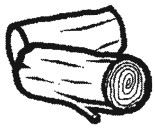
※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	1月29, 30日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	2月25, 26日	
玉掛け(未経験者対象)	岡山	12月4, 5日 1月17, 18日 1月22, 23日, 2月12, 13日	
	玉野	2月16, 17日	
	津山	2月23, 24日	
移動式クレーン運転士		1月20日	

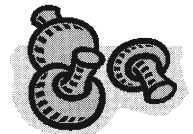
森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
11.16(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第175回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 TEL (0866) 62-8614
11.22(土) 9:30~	総社市下倉地内	森林整備(除伐・枝打ち)、 しいたけ原木等の伐採	倉敷地域森づくりの会 TEL:(0866) 92-5600
11.22(土) 9:00~15:00	高梁美しい森(高梁市松山)	森づくり勉強会(森林の生態) 詳細については、問合せ先まで お願いします。	NPO法人フォレストフォーピープル岡山 〒716-0038 高梁市浜町 1285-1 TEL (0866) 22-1000
11.25(火)	真庭市鉄山地内	少花粉スギモデル林植樹のつどい	真庭市農林振興課 TEL (0867) 42-1031
12.5(金) ~7(日)	イオン倉敷(倉敷市水江)	平成26年度ふれあい木材展	岡山県木材組合連合会 (086) 231-6677
12.6(土) 10:00~15:00	長船美しい森 (瀬戸内市長船町磯上)	保育の集い(除伐、間伐作業、 シイタケ植菌体験)	岡山森林組合 TEL:(086) 724-0200
12.6(土) 10:00~12:00	おかやま共生の森・井原 (井原市西江原町)	保育のつどい(間伐)	井原市森林組合 TEL:(0866) 72-0161
12.13(土) 9:30~	倉敷市酒津地内	森林整備(除伐、植樹)	倉敷地域森づくりの会 TEL:(0866) 92-5600
12.13(土) 9:00~12:00	高梁美しい森 (高梁市松山)	冬鳥観察会(北方系の渡り鳥を中心に) 詳細については、問合せ先まで お願いします。	NPO法人フォレストフォーピープル岡山 〒716-0038 高梁市浜町 1285-1 TEL (0866) 22-1000
12.13(土)	おかやま共生の森・柵原 (美咲町書副地内)	保育のつどい (広葉樹林整備・ミニ門松づくり)	久米郡森林組合 TEL:(0868) 66-0053

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
12.21 (日) 9:00 ~ 12:30	櫻の杜 (井原市門田町)	櫻の杜塾・第176回杜の市 (特産品の販売など)	櫻の杜塾 TEL (0866) 62-8614
H27.1.18 (日) 8:30 ~ 16:00	岡山市北区建部町品田地内の山林ほか	森林体験バスツアー 間伐・枝打ち・木工・シイタケ植菌体験 (小学4年生~中学生)	「未来へつなぐ森林体験実行委員会」 事務局：岡山市農林水産課 TEL：(086) 803-1345
H27.1.24 (土) 9:30 ~	真備美しい森 (倉敷市真備町市場地内)	竹林整備 (竹チップ化)、栗植樹 地草刈り、遊歩道整備	倉敷地域森づくりの会 TEL：(0866) 92-5600



林 産 物 市 況



木 材 (10月15日)

出荷材積

約 1,700 m³

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直 材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直 材	小曲り	杉概況	全体的に横這い
杉	3m	14~16	12	7	檜	3m	14~16	16	14	小径材	横這い
		18~20	12	7			18~20	16	14.5	柱 材	横這い
		22~28	12	10			22上	16.5	14	中目材	横這い
	4m	18~22	12	10~		4m	16~18	17	9~	桧概況	全体的に横這い
		24~28	12	10~			20~22	15	14	小径材	横這い
		6m	16~18	15			10	24~28	15	14	柱 材
松	3m	18~22	15	8	6m	14~16	30	25	中目材	横這い	
	4m	18~22	16	10		18~20	30	25	松概況	横這い	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (10月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値~高値	備考
ス ギ	正角 3m 10.5cm 角	特 等	K	55,000 ~ 60,000	
	正角 3m 12cm 角	特 等	K	55,000 ~ 58,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特 等	K	60,000 ~ 65,000	
	正角 3m 12cm 角	特 等	K	60,000 ~ 65,000	
マ ッ	平角 4m 10.5 ~ 12cm × 15 ~ 18cm	一 等	K	65,000	
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm 角	特 等	G	56,000	
	平角 3m, 4m 10.5 × 15 ~ 21cm	特 等	G	56,000 ~ 58,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特 等	K	70,000 ~ 75,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm × 10.5cm	特 等	K	55,000 ~ 57,000	国内挽

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

『もしもの為に備えましょう』 森林国営保険



大切な森林を守る、森林国営保険への加入をお勧めします。

間伐加入 (3年30%) ヒノキ 0.1ha 30~50年生

保 険 料 750円~ 1,050円

保険金額 90,000円~135,000円 (全損の場合)


〈岡山県の保険金支払い実績〉

H16 台風被害 約 6千件 約 27億円

H23 水害ほか 68件 1,045万円

H24 水害ほか 49件 583万円

H25 水害ほか 64件 1,456万円



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

安心と信頼の証を届けます




創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
 ■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
 ■東京営業所 〒201-0003 東京都江戸市和泉本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587



CT-500B GP-532 小型ハイパワープロセッサ



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL (0868) 23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

FOREST INSURANCE

森林 国営保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で10億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年 保険期間…5年 保険金額…最大188万円 一括払いだと 21,225 円 (5年間計)	樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年 保険期間…5年 保険金額…最大299万円 一括払いだと 37,375 円 (5年間計)
---	--

1ヶ月あたり 約 350 円 → わずか缶ビール 1本分

1ヶ月あたり 約 620 円 → わずかラーメン 1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
 ○条件によって契約金額が変わってきます。
 ○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林企画課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課 電話番号 086(226)7455 (直通)

平成二十六年十一月一日(第四三八号)
(隔月一日発行)

編集
発行

〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)ができる

スミパイン® 乳剤・MC

積れる松枯れ防止用散布剤

モリエート® SC

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング® SP

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー® 40

伐倒木除菌剤

パインサイド® S油剤D

樹幹注入剤

グリーンガード® ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 Tel.(06)6305-5871

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

[野生獣類忌避剤] コニファー水和剤 [幼令樹保護カバー] くわんたい
[樹皮食い防止に] バークガード [野生草食獣食害防止] 防獣ネット
[クズ専用除草剤] サイトロン・サイトロンフレノック・ケイピンエース
[樹幹注入剤] センチュリーエース ★新発売★マッケンジー注入剤

(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：口植アグリ株式会社

TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	張りウッド 〔盛土用〕 	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

http://www.nihon-shokusei.co.jp/

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」



この用紙は、日本の森林を育てる
ために間伐材を積極的に使用して
います。(間伐材10%+古紙70%)

